

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスセンターひかり苑		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	情報の発信	写真やLINEアプリ、SNSを使用して、保護者様へより分かりやすく苑での活動内容やお子様の様子がお伝え出来るように工夫をしています。	今後も様々な情報が正確に保護者様や外部に伝えられるように工夫を続けていきます。
2	個別プログラムの立案と固定化しないような工夫	チームで必ずプログラムの立案を行っています。特に個別の療育は、困りごとや進路に向けた今後の生活を見据えた療育を積極的に提供をしています。また固定化されないように、複数の曜日を利用される児童へは週間の予定表を作成して、週の中で様々な活動が提供できるように工夫をしています。	今後もチーム全体で活動の立案を行い、児童へ様々な体験ができるように工夫を続けていきます。
3	ボランティアの受け入れ	長期休みの際は、地域のボランティアの方を招いた活動の実施しています。また夏休み時期には保育学科や福祉学科がある学校へボランティア募集のチラシの配布を行い、学生ボランティアの受け入れを積極的に行っています。	今後も、地域との交流を深く持てるように模索してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援	個別で相談援助は行っていたが、集団では行えていなかった。	来年度から家族へ向けた研修や家族同士の交流が出来る会を開催予定
2	地域交流	事業所内で行う行事やイベントだけを考案していた。	地域の他の子どもとの交流の機会や行事を模索する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスセンターひかり苑

公表日 2026年3月9日

利用児童数 30名

回収数 22名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	22					
	2	21			1		現在毎日現場職員を4名配置しています。基本人員に対して1名多い職員配置を行っています。
	3	22					
	4	22					
適切 な 支 援 の 提 供	5	22					
	6	21			1	支援プログラムを確認していないので分らない。	支援プログラムはひかり苑のHPにて公開しています。またご確認ください。
	7	20	1		1		
	8	22					
	9	22					
	10	21	1				
	11	6	3	2	11		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	22					
	13	21	1				
	14	8	3	1	10	家族が参加できる研修は行われていない	来年度から、ご家族へ向けた研修や様々な情報提供・家族同士が交流出来る会を開催する予定としています。ぜひご参加下さい。
	15	22					
	16	21			1		
	17	22					
	18	3	1	4	15		
19	22						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			2	定期的に災害訓練が行われていると感じています。	定期的に、職員向け・児童向けの避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22					
	29	事業所の支援に満足していますか。	22					

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスセンターひかり苑		2026年 3月 9日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		広い建物や複数の個室を準備しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基本配置基準に対して1名多い職員配置をしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		各個室は子どもが自由に使用可能となっています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表からいただいたご意見を元に業務改善を行っています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に個別の面談を行っています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在第三者評価は行っていません。今後は行ってきたいと考えています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部の研修には積極的に参加をしています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPにて公開をしています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援会議にて全職員で様々な内容を共有、県等しています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		複数のアセスメントツールを使用しています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		必ずチームで様々な活動プログラムの立案を行っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		複数の曜日を利用されるお子様は、週間の予定表を作成して固定化されないよう工夫しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝朝礼を必ず行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		引継ぎ表に必ず当日の変化の記入を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日業務日誌の打ち込みを行い支援内容の記録を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		様々な場面で自己選択、自己決定ができるように支援をしています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本、児童発達支援管理責任者が参加をしています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		その都度情報の共有をしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		今後も交流ができないか模索していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		光市地域自立支援協議会に参加しています。また専門部会（教育部会）の部会長をしています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		来年度から家族支援の一つとして、家族へ向けた研修や家族同士の交流が出来る会の開催をする予定です。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に説明をしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		その都度助言を行いながら、必要であれば資料等の作成と提供を行っています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			来年度から家族支援の一つとして、家族へ向けた研修や家族同士の交流が出来る会の開催をする予定です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決委員会の設置をしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		おたよりの発行やLINEアプリにて情報発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		支援が必要なお子様とは様々なツール（紙、ホワイトボード、電子メモパット、タブレット等）を使用して意思疎通を行っています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人内で行っている行事に参加しています。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		職員向け、児童向けの避難訓練を定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約の際に必ず確認をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約の際に必ずアレルギーの有無の確認を行い、必要な対応を家族と共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			今後、保護者会等を通してさらに周知できるように工夫していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		必ず年3回事業所内で研修を行っています。また毎年県の虐待防止研修に参加をしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				